

21世紀の観光を担う人材を神戸で育成！ ～神戸運輸監理部・流通科学大学 連携協定～

背景と意義

平成18年に観光立国推進基本法が成立、平成20年10月に観光庁が発足する等、国土交通省では、「観光立国」の実現を強力に推進しております。人材育成分野では、平成18年度から観光関連大学等における人材育成推進のため、産学官の連携による観光人材育成のあり方等の検討を進めており、神戸運輸監理部においても、神戸市内の観光関連大学との学官連携を推進してきたところです。

流通科学大学では、平成13年にサービス産業学部を開設し、「観光・生活文化事業学科」において観光産業に従事する人材を育成・輩出してきました。

そして今年6月、両者は共催で、新入生対象の「神戸港フィールドワーク・観光セミナー」を開催しました。学官連携の取り組みは学生の評判も良く、教育効果も高いことから、今後も連携して観光人材育成に取り組むことで両者が合意、今後、観光人材育成に関する連携事業を実施するに当たり、単発的・断続的な連携ではなく、総合的・継続的な連携取り組みを実施すべく、連携協定を締結することになりました。神戸から、全国で活躍する観光人材を輩出することを目指します。

主な取り組み

平成21年度、学生を対象に、神戸港や瀬戸内海沿岸地域の観光や歴史、海運や港湾運送等の流通、生活文化等をテーマとする観光人材育成連携プログラム「こうべ・せとうち学（仮称）」を開講します。流通科学大学の教員や神戸運輸監理部職員が協力して、観光資源や観光政策等について、オリジナルテキストとカリキュラムを作成し、講義を展開します。また本講座で得られた成果を活かし、地域住民への公開講座等の展開も予定しています。（資料2参照）

目指す人材像

神戸運輸監理部では、神戸港や瀬戸内海沿岸地域の観光や歴史、流通、生活文化等を観光資源として学び、そこで得られた知識・経験を活かして、観光による地域づくりを担う人材（観光ボランティアや地域のリーダー等）を育成したいと考えています。

今後の展開

平成21年度に開講する「こうべ・せとうち学（仮称）」の取り組みのほか、平成20年度における協定締結後の第1弾の取り組みとして、平成20年10月、みなと神戸に新しく進出するホテル「ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド」（平成20年11月オープン）において、流通科学大学の留学生による体験学習を実施するとともに、外国人の目から見た同ホテル施設内の観光ホスピタリティチェックを予定しております。